



茎葉処理除草剤なのに…
田面・水面に落ちた成分が
根からも吸収!

水稻用 中後期茎葉処理除草剤

アレイル[®]SC

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2020年10月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

ALE-SHP3A

※アルテア®はメタソスルフロンの愛称です。 ®は日産化学(株)の登録商標



茎葉からはもちろん、“根”からも作用! 作業工程に余裕を生み出すレスキュー剤、 「アレイルSC」



登録番号：第24219号
有効成分：ハロスルフロンメチル..... 1.8%
メタゾスルフロン 2.4%
性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体
容 量：500mL

[アレイルSCの特長]

● 成分が根からも吸収!

田面・水面に落ちた成分も根から吸収する、新しい茎葉処理除草剤です。
茎葉と根の両方から二段構えで作用するため、安定した効果を発揮します。

● だから、雨で効果が流されない!

散布1時間後に雨が降っても優れた除草力を発揮。
もう、天気予報を気にして作業工程を変える必要はありません。

● しかも、湛水のままでも散布可能!

もう、落水のタイミングまで薬剤散布を待つ必要もありません。

● 大きくなってしまった雑草*もしっかり枯殺!

*草種によって枯らせる大きさは異なります。詳しくは10ページ「主要雑草の散布適期」をご覧ください。

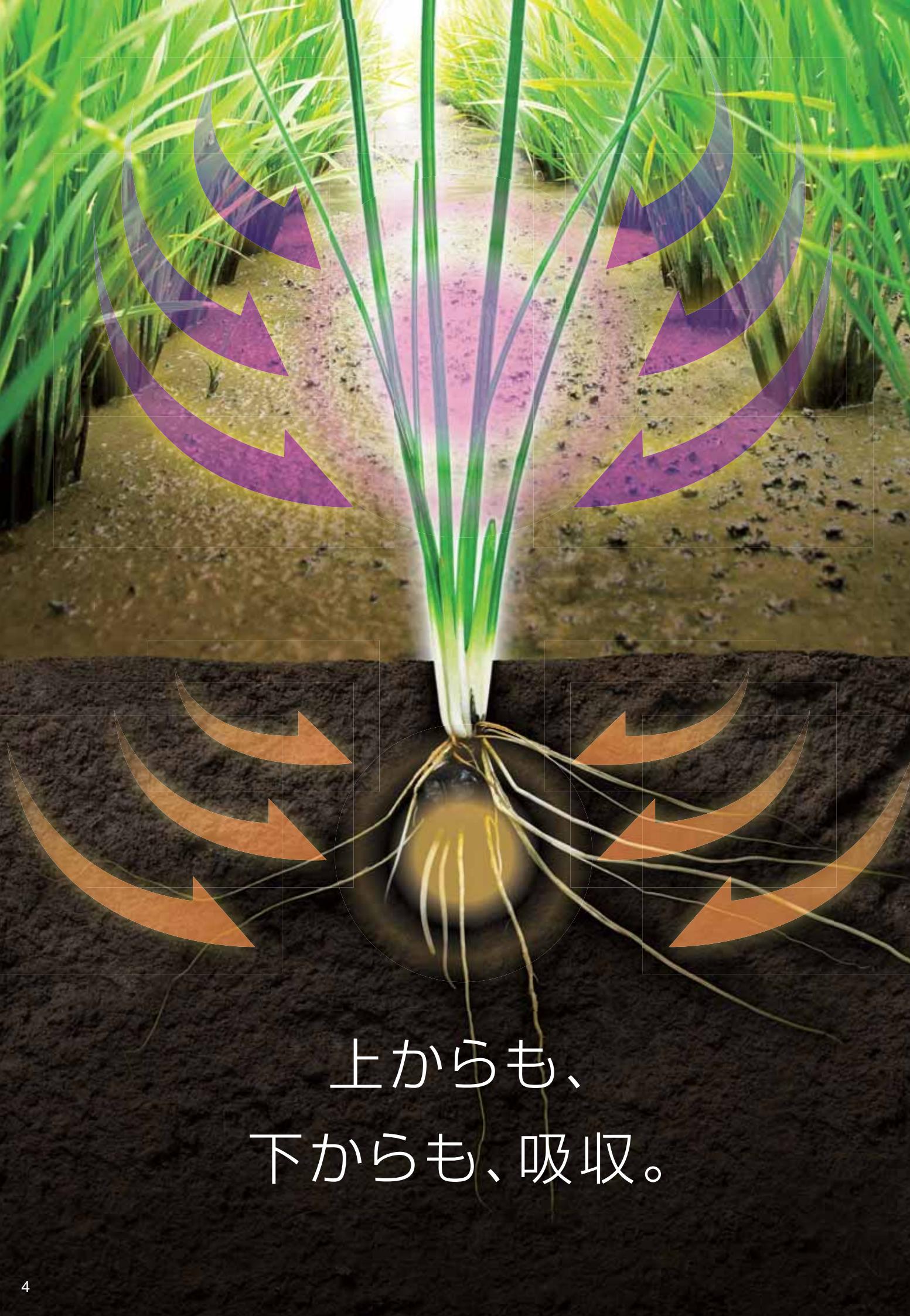
水稻用 中後期茎葉処理除草剤

アレイル[®]*SC*

■ 適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		総使用回数 [#]	使用方法
			薬量	希釈水量		
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植後25日～ ノビエ5葉期 収穫45日前まで ※出穗始期 15日前まで	500mL/10a	通常散布 50～100L/10a 少量散布 [†] 25～50L/10a	本剤 ハロスルフロンメチル剤 2回以内	1回 湛水散布 又は 落水散布

[#]本剤及び、それぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。
[†]少量散布(25～50L/10a)の場合は、専用ノズルを使用してください。



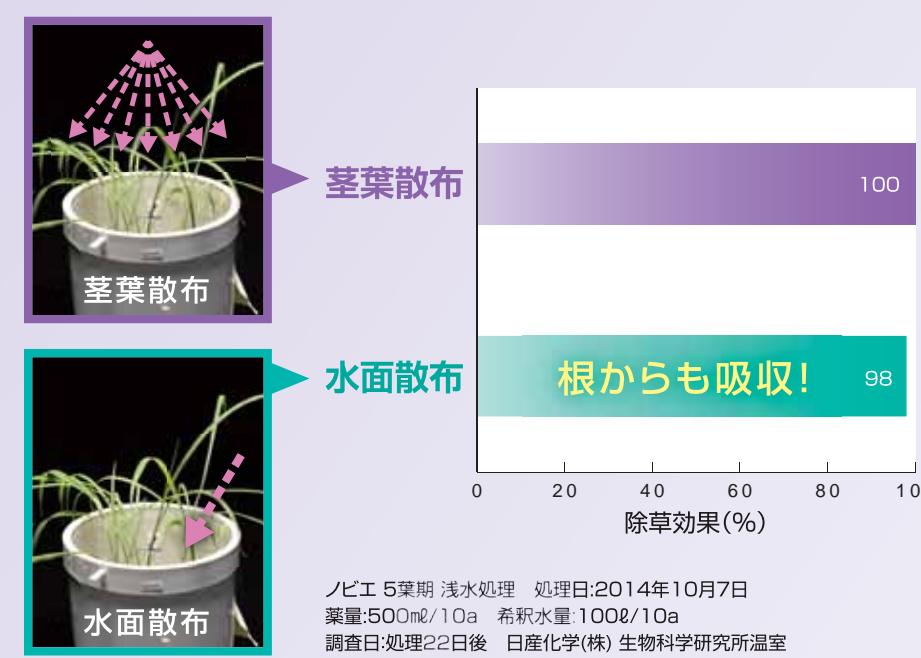
先ずは「茎葉」から、次に「根」から。
アレイルは、二段構えで吸収!

茎葉だけでなく、田面や水面に落ちた成分も根から吸収!
それが、茎葉処理除草剤アレイルSCの強みです。
茎葉と根の両方から二段構えで作用するため、
これまで以上に安定した雑草防除が実現します。



除草成分が茎葉からだけでなく、根からも吸収されます!

■ノビエに対する効果

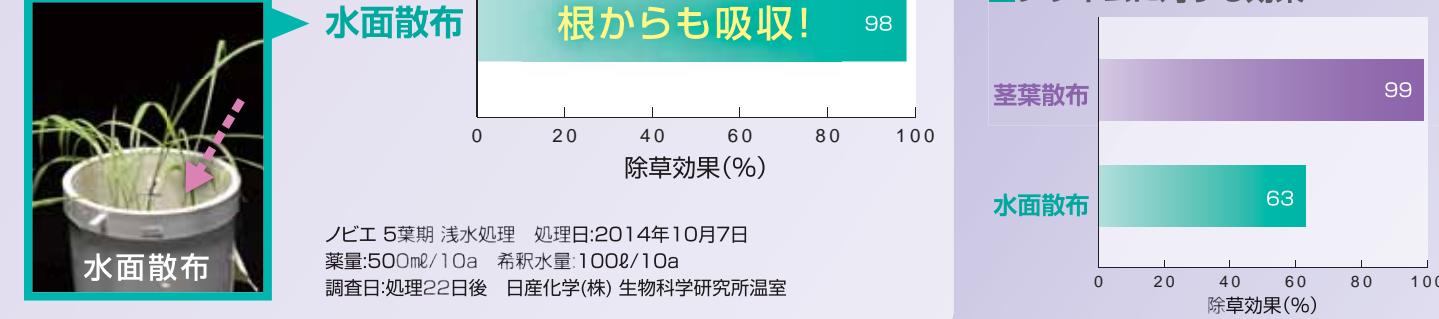


[注意!]

雑草の茎葉にしっかりとかかるよう散布してください。

生長点が地上部にあるクサネムのような広葉雑草に対しては、水面散布では効果が劣ることがあります。そのため散布の際は、しっかりと茎葉部にかかるように処理することが大切です。

■クサネムに対する効果



だから、
突然の雨にも負けない。



散布1時間後に雨が降っても大丈夫!
優れた除草効果は簡単には流されません。

アレイルSCは、茎葉にまいた成分が雨によって田面や水面に流れ落ちても、根から吸収されしっかり作用。散布1時間後に雨が降っても、優れた除草力を発揮します。もう、天気予報を気にして作業工程を変える必要はありません。

散布1時間後に雨が降っても、高い除草効果を示します。

■ クログワイに対する効果



クログワイ 草丈50cm 落水処理 薬量:500ml/10a 希釀水量:100ℓ/10a 処理1時間後に10mm降雨 2018年 日産化学(株)生物科学研究所温室



降雨無し



1時間後降雨

■ クサネムに対する効果



クサネム 草丈30~40cm 落水処理 薬量:500ml/10a 希釀水量:100ℓ/10a 処理1時間後に10mm降雨 2018年 日産化学(株)生物科学研究所温室



降雨無し



1時間後降雨

■ アメリカセンダングサに対する効果



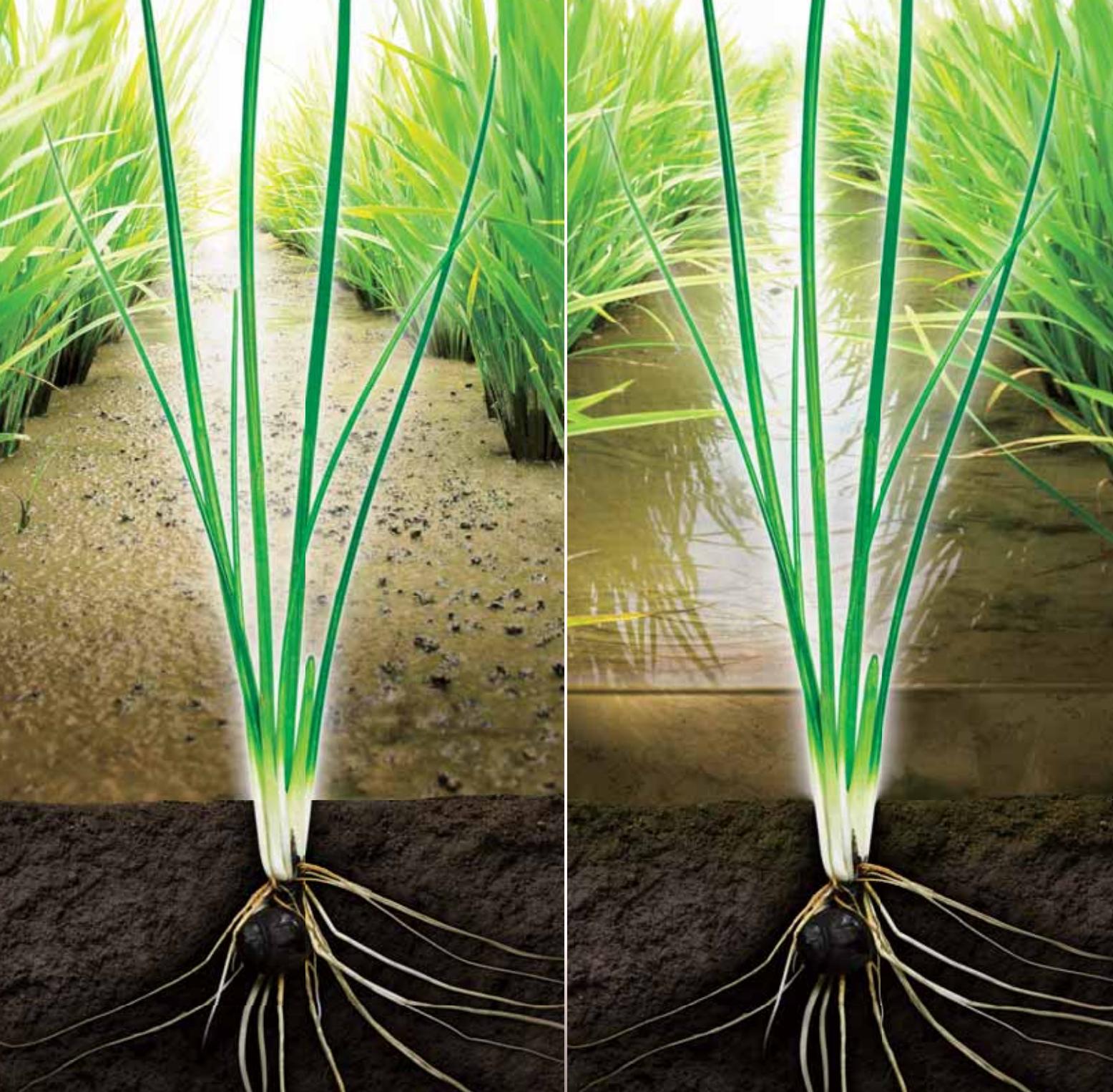
アメリカセンダングサ 草丈50cm 落水処理 薬量:500ml/10a 希釀水量:100ℓ/10a 処理1時間後に10mm降雨 2018年 日産化学(株)生物科学研究所温室



降雨無し



1時間後降雨



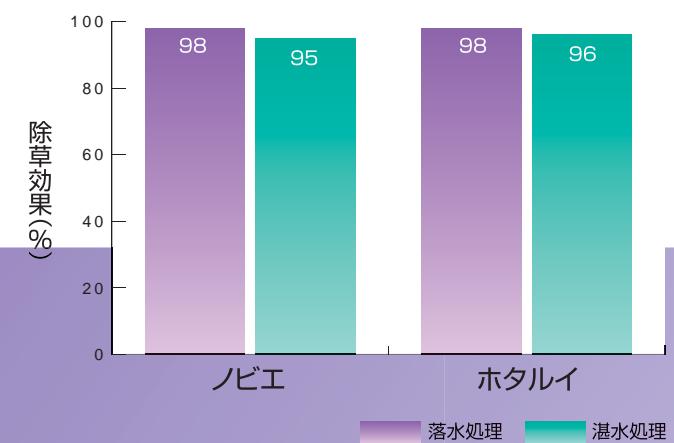
落水はもちろん、
湛水のままでも。

湛水状態のまま散布できる!
落水のタイミングまで待つ必要もありません。

アレイルSCの成分は、水面に落ちても根から吸収。
だから、湛水のままで散布してもしっかり作用します。
落水のタイミングまで散布を待つ必要がなくなるため、
忙しい生産者の作業工程に余裕を生み出します。

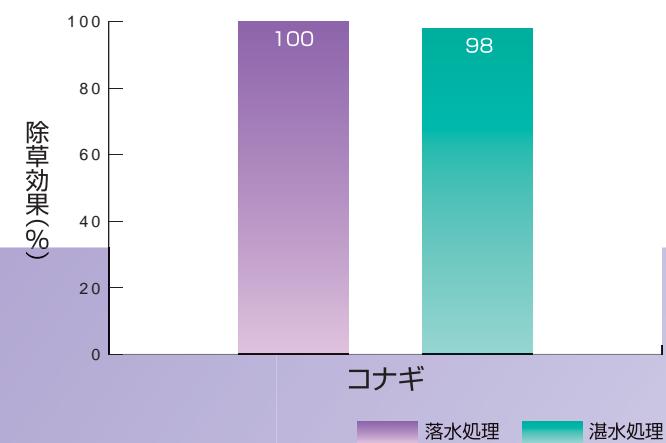
湛水のままで安定した除草効果を示します。

■ノビエ・ホタルイに対する効果



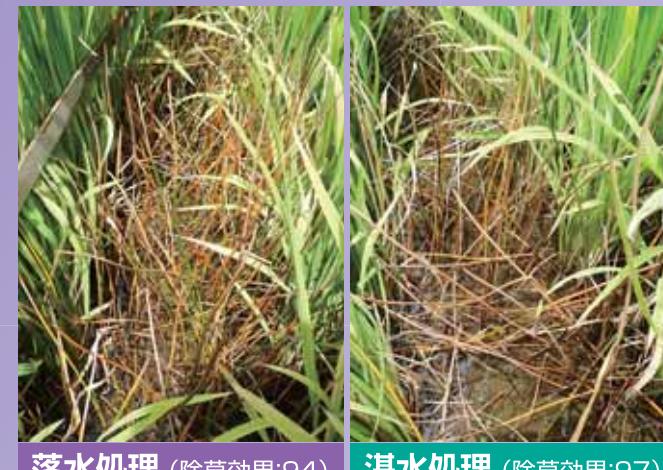
ノビエ 5葉期、SU抵抗性ホタルイ 花茎9cm
処理方法:落水処理(処理7日後入水)、湛水処理(処理時:4~7cm)
調査日:処理52日後(0=影響なし~100=完全枯殺)
2018年 日産化学(株)生物科学研究所 宮城県大崎市圃場

■コナギに対する効果



コナギ 5葉期
処理方法:落水処理(処理3日後入水)、湛水処理(処理時:6~8cm)
調査日:処理30日後(0=影響なし~100=完全枯殺)
2015年 日産化学(株)生物科学研究所 埼玉県白岡市圃場

■クログワイに対する効果



クログワイ 草丈40~60cm
処理方法:落水処理(処理3日後入水)、湛水処理(処理時:7~8cm)
調査日:処理34日後(0=影響なし~100=完全枯殺)
2018年 日産化学(株)生物科学研究所内圃場(埼玉県白岡市)

■コウキヤガラに対する効果



コウキヤガラ 草丈20~55cm
処理方法:落水処理(処理3日後入水)、湛水処理(処理時:5~7cm)
調査日:処理40日後(0=影響なし~100=完全枯殺)
2018年 日産化学(株)生物科学研究所内圃場(埼玉県白岡市)

大きくなった雑草にも、 優れた殺草力。



■ 主要雑草の散布適期

雑草名	科	散布適期
ノビエ	イネ	5葉期まで ^{#1}
コウキヤガラ		草丈50cmまで ※登録は90cmまで
クログワイ		草丈50cmまで ※登録は70cmまで
シズイ		草丈50cmまで ※登録は60cmまで
ミズガヤツリ		草丈25cmまで
ホタルイ*		花茎10cmまで ※登録は20cmまで
タマガヤツリ		草丈30cmまで
オモダカ*	オモダカ	矢尻葉3葉期まで
クサネム	マメ	草丈50cmまで
ホソバヒメミソハギ	ミソハギ	草丈40cmまで ^{#2}
ヒメミソハギ		草丈40cmまで ^{#2}
タウコギ	キク	草丈60cmまで
アメリカセンダングサ		草丈60cmまで
タカサブロウ		草丈40cmまで
チョウジタデ	アカバナ	草丈40cmまで
ヒレタゴボウ		草丈40cmまで ^{#2}
ナガボノウルシ	ナガボノウルシ	草丈50cmまで
コナギ*	ミズオアイ	舟形葉3葉期まで
ミズアオイ*		心臓形葉3葉期まで
セリ	セリ	草高20cmまで(ほふく茎50cmまで) ※登録は増殖期まで

*従来型ALS阻害剤抵抗性を含む #1他草種を対象にした場合の撒き遅れに注意してください。 #2個体全体にかかるように散布してください。

除草成分**アリテア®**+ハロスルフロンメチル。
大きくなった雑草も、2成分でしっかり枯殺。

問題雑草に対する効き目で評判の2つの成分

「アリテア®」と「ハロスルフロンメチル」を混合。

だから、散布タイミングが遅れてもまだ間に合います。

大きくなった雑草の防除は、アレイルにおまかせください。

*アリテアはメタゾスルフロンの愛称です。

大きくなった雑草でも枯らすことができます。

■ クログワイに対する効果



クログワイ生育期 落水茎葉処理 薬量:500mL/10a 希釀水量:100L/10a
調査日:処理77日後 2016年 日産化学(株)生物科学研究所温室

■ コウキヤガラに対する効果



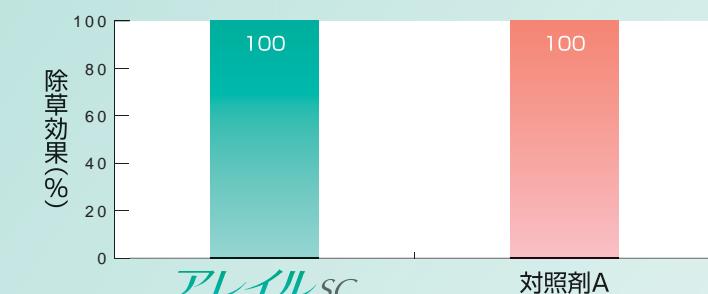
コウキヤガラ生育期 落水茎葉処理 薬量:500mL/10a 希釀水量:100L/10a
調査日:処理36日後 2018年 日産化学(株)生物科学研究所温室

■ クサネムに対する効果



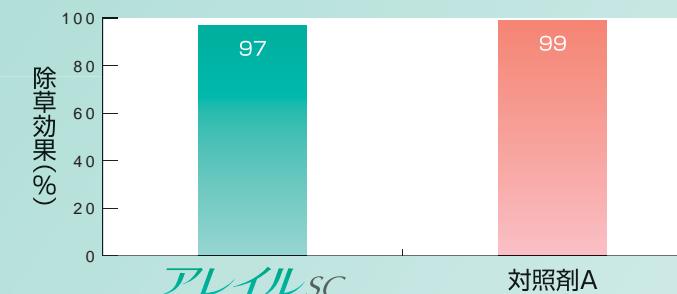
クサネム 草丈18~27cm 落水茎葉処理 薬量:500mL/10a 希釀水量:100L/10a
調査日:処理41日後 2014年 日産化学(株)生物科学研究所温室

■ ホソバヒメミソハギに対する効果



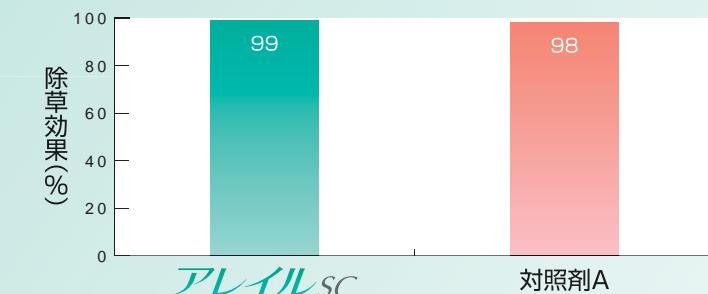
ホソバヒメミソハギ 草丈20~30cm 落水茎葉処理 薬量:500mL/10a
希釀水量:100L/10a 調査日:処理34日後 2015年 日産化学(株)生物科学研究所温室

■ ヒレタゴボウに対する効果



ヒレタゴボウ 草丈35~40cm 落水茎葉処理 薬量:500mL/10a
希釀水量:100L/10a 調査日:処理30日後 2018年 日産化学(株)生物科学研究所温室

■ ノビエに対する効果



ノビエ 5葉期 落水茎葉処理 薬量:500mL/10a 希釀水量:100L/10a
調査日:処理27日後 2018年 日産化学(株)生物科学研究所温室

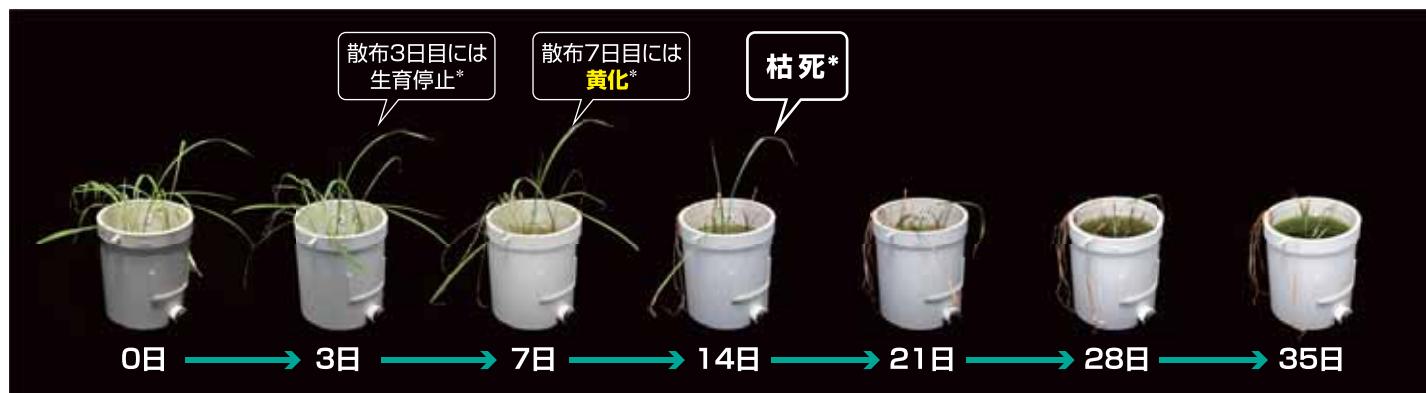
大きくなった雑草もじっくり、しっかり枯らす!

アレイルSCの優れた殺草力。

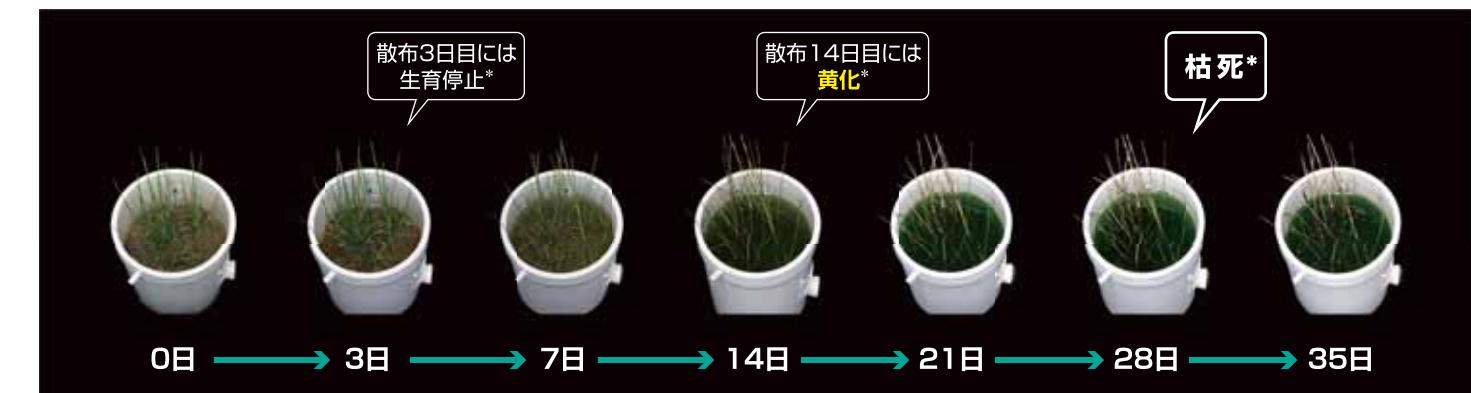
■ 殺草経過 日産化学(株)生物科学研究所温室内試験

*日数はあくまで目安であり、圃場においては異なる場合があります

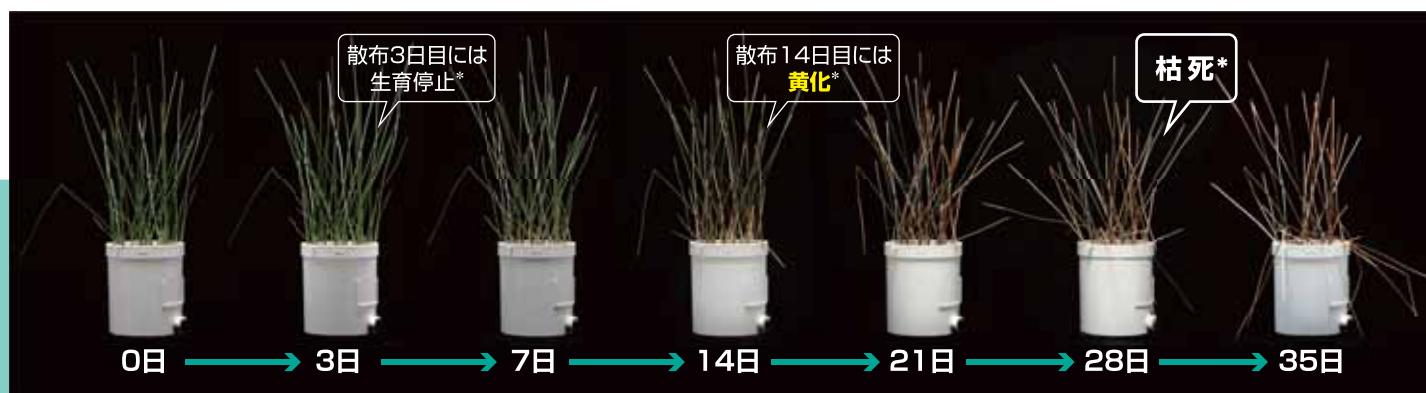
ノビエ



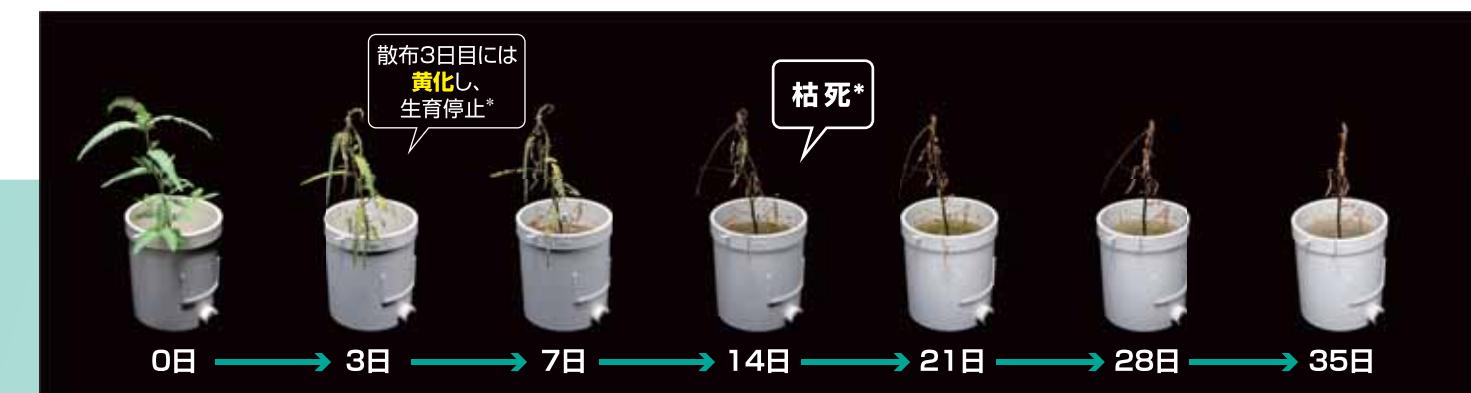
イヌホタルイ (従来型ALS阻害剤抵抗性)



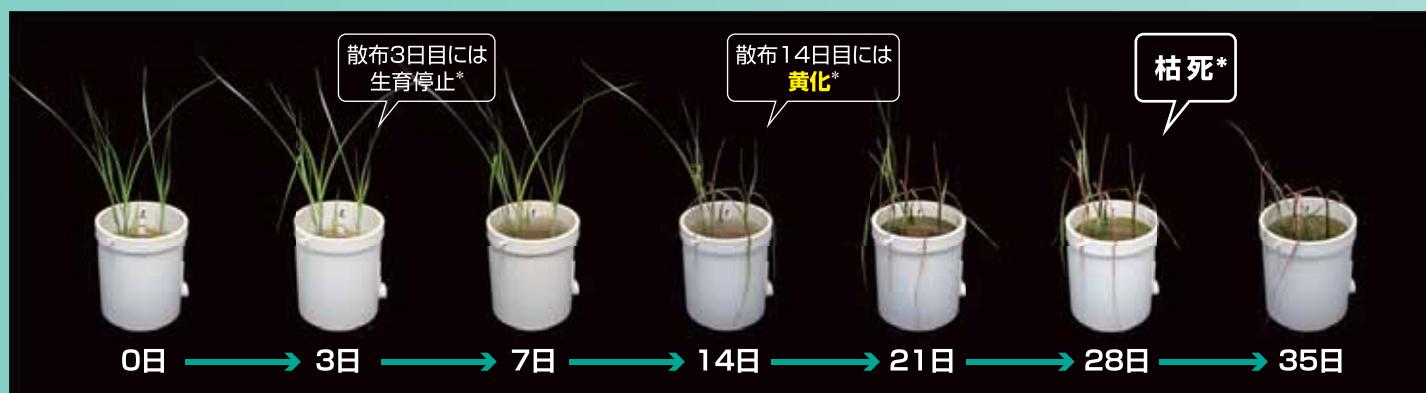
クログワイ



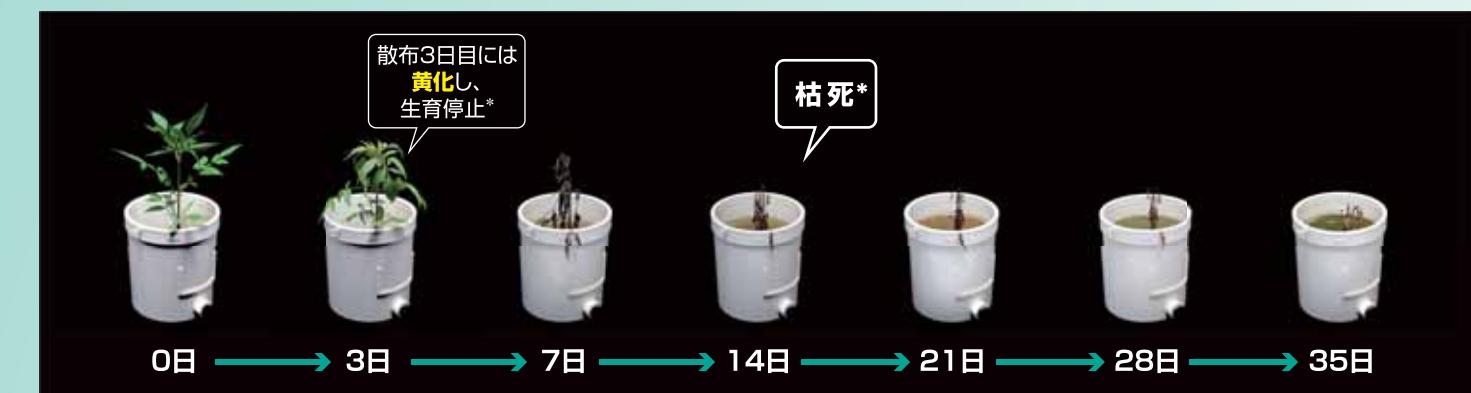
クサネム



コウキヤガラ



アメリカセンダングサ



■ 殺草スピードについて

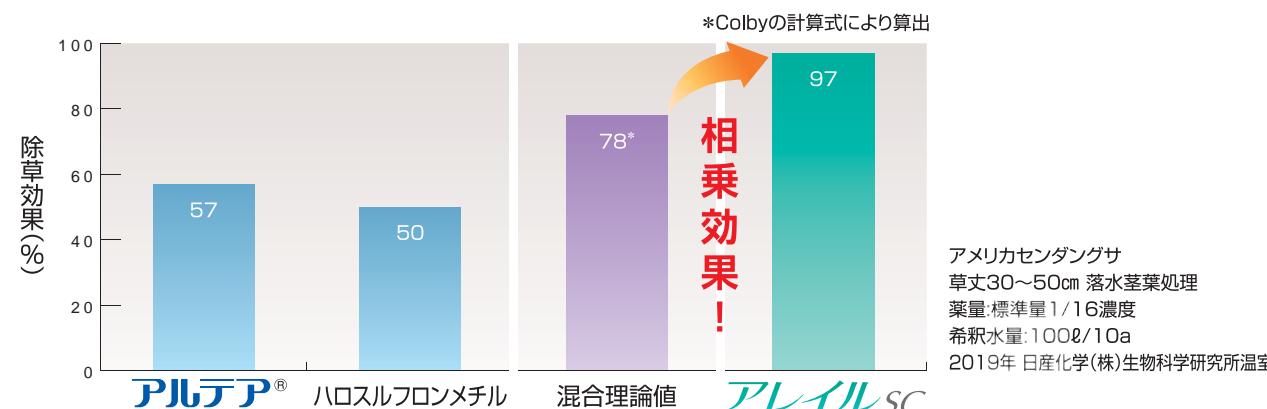
アレイルSCは一年生広葉雑草に対しては効果発現が早く、
多年生カヤツリグサ科雑草に対してはやや遅効的ですが、
最後はしっかりと枯らします。

優れた2成分の相乗効果により、幅広い種類の雑草を枯らします。



*アルテア®はメタゾスルフロンの愛称です。

■アルテア®とハロスルフロンメチルの相乗効果



2成分が相乗的に作用。大きくなった雑草にも優れた効果を発揮します。

■2成分の組合せで、より幅広い雑草を枯らせます

主な雑草に対する成分ごとの殺草スペクトラムは以下の通りです。

草種	*従来型ALS阻害剤抵抗性								
	ノビエ	ホタルイ*	コナギ*	クサネム	アメリカセンダングサ	ヒレタゴボウ	コウキヤガラ	クログワイ	オモダカ*
アルテア	●	●	●	◎	●	○	●	●	●
ハロスルフロンメチル	△～○	×	×	●	●	●	●	●	×

●:非常に効果高い ○:効果高い ◎:効果あり △:効果やや低い ×:効果なし

2成分を合理的に配合することで、幅広い種類の雑草に対応します。

■アレイルSCの殺草スペクトラム

雑草名	科	除草効果	雑草名	科	除草効果	雑草名	科	除草効果
ノビエ	イネ	●	ホソバヒメミソハギ	ミソハギ	●	アシカキ		×
コウキヤガラ		●	ヒメミソハギ		●	アゼガヤ		×
クログワイ		●	タウコギ		●	キシュウスズメノヒエ		△
シズイ		●	アメリカセンダングサ	キク	●	イボクサ	ツユクサ	×
ミズガヤツリ	カヤツリグサ	●	タカサブロウ		●	ヒナガヤツリ	カヤツリグサ	×
ホタルイ*		●	チョウジタデ		●	アゼナ	アゼナ	×
タマガヤツリ		●	ヒレタゴボウ	アカバナ	●			
オモダカ*		●	ナガボノウルシ	ナガボノウルシ	●			
ウリカワ	オモダカ	●	コナギ*	ミズアオイ	●			
ヘラオモダカ		●	セリ	セリ	●			
クサネム	マメ	●	ヒルムシロ	ヒルムシロ	●			

*従来型ALS阻害剤抵抗性を含む

除草効果: ● > ○ > △ > ×

アレイルSCのご使用にあたって

使用時期と使用上の注意点

使用時期は、移植後25日～出穂始期15日前(収穫45日前)です。



◎アレイルSCを効果的に使用するため、以下の点に注意してください。

- 出穂始期の15日前を過ぎてからの使用は、出穂や収量に影響を及ぼすおそれがあるので使用をさけてください。
- 薬害のおそれがあるので展着剤の加用や重複散布はさけてください。
- 水稻以外の作物にかかると薬害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないように十分注意してください。特に、周辺にあぶらな科作物、なす、ほうれんそうがある場合は散布をさけてください。それ以外の作物であっても、飛散のおそれがあるので散布を控えてください。
- 使用後は、散布器、タンク、ホース、ノズル内に薬液が残らないよう十分に洗浄し、使用した器具を他の用途に使用する場合は、薬害の原因にならないよう注意してください。ただし、使用した器具をあぶらな科作物、なす、ほうれんそうの散布には使用しないでください。洗浄液は河川等に流さず、適切に処理してください。

散布器具の洗浄方法 (1000ℓタンクの場合)

タンクに薬液が残らないよう使いきることを基本にしてください。

◎あぶらな科作物、なす、ほうれんそうに、アレイルSCを散布した器具を使用しないでください。

〈洗浄手順〉

- ① 残った薬液は完全に排出してください。^{※1} ※1:薬液は河川、排水溝などへ流さないでください。
- ② ドレインを開けた状態でタンクの内部を100ℓの流水でていねいに洗い流してください。
- ③ タンクに水500ℓを貯め、家庭用洗剤^{※2}を加えて5分間循環後、散布ホースから100ℓを排出し、残液をドレインから排出してください。※2:ラベルを確認の上、適量を加えてください。
- ④ ドレインを開けた状態で、タンクの内部を泡が切れるまで100ℓの流水でていねいに洗い流してください。
- ⑤ タンクに水300ℓを貯め、散布ホースから100ℓを排出し残液をドレインから排出してください。
- ⑥ 敷設器具、ホース、ノズルの外側も十分洗浄してください。